

「先進技術を活用した石油コンビナート災害対応に関する検討会」の開催について

消防庁特殊災害室

1 検討会の趣旨・目的

南海トラフ地震や首都直下地震発生の懸念、施設の高経年化等により事故が増加している状況を踏まえ、石油コンビナート等における総合的な防災体制の充実強化が求められています。

昨今、IoTやAI等の先進技術の発展はめざましく、産業保安分野においてもこれらを活用した様々な取組みが進められています。また、石油コンビナート防災体制のさらなる強化やヒューマンエラー対策・ベテランの技術伝承等の推進などが求められていることから、消防庁では、石油コンビナート災害対応支援を図ることを目的として、「先進技術を活用した石油コンビナート防災対策に関する検討会」（以下「検討会」という。）を開催し、第1回検討会を8月7日（水）に実施しました。

2 主な調査・分析・検討内容

- (1) 災害対応に先進技術を活用するためのニーズ調査・分析
関係都道府県、関係消防本部及び特定事業所から、先進技術を活用した災害対応についてのニーズを収集・分析する。
- (2) 先進技術活用事例の調査
ア 保安分野等において既に導入済みのもので、災害対応に応用可能な技術や、海外・他業種も含めた、先進技術の活用事例を調査する。
イ 優良事例を抽出し、検討を行う。
- (3) 災害対応を支援するためのツール開発
上記を踏まえ、現行システム等との連携も視野に入れた、支援ツールの開発について検討を行う。

3 第1回検討会の開催

令和元年8月7日（水）に第1回検討会が開催され、石油コンビナート災害対応における現状と先進技術の活用方策等について情報を共有し、今後の方向性について検討が行われました。

4 今後のスケジュール

- ・第2回 令和元年11月下旬（予定）
- ・第3回 令和2年1月中旬（予定）
- ・第4回 令和2年2月中旬（予定）

本検討会の結果は、令和元年度中に報告書として取りまとめる予定です。

委員名簿（敬称略・五十音順）

【座長】	小林 恭一	東京理科大学 総合研究院 教授
【委員】	今尾 清	四日市市消防本部 予防保安課長
	白田裕一郎	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 総合防災情報センター長
	小川 晶	川崎市消防局 予防部 危険物課長
	川越 耕司	石油化学工業協会
	神取 弘太	TerraDrone株式会社 日本統括責任者
	國方 貴光	防衛省 陸上装備研究所 システム研究部無人車両・施設器材システム研究室長
	小出 均	市原市消防局 警防救急課長
	河本 泰輔	岡山県 消防保安課長
	小島 公平	神奈川県 ぐらし安全防災局 防災部 工業保安課
	古賀 崇司	東京消防庁 警防部 特殊災害課長
	小林 正幸	経済産業省 産業保安グループ 高圧ガス保安室 室長補佐
	佐川 平	電気事業連合会
	篠原 久二	一般社団法人 日本ガス協会
	杉山 章	危険物保安技術協会 企画部長
	田邊 正透	独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構
	細川 直史	消防庁消防大学校消防研究センター 技術研究部長 教授
	三浦 安史	石油連盟
	村上建治郎	株式会社Spectee 代表取締役CEO
	森口 昌和	NECソリューションイノベータ株式会社
	山本 政樹	一般社団法人 日本鉄鋼連盟



委員会の様子

問い合わせ先

消防庁特殊災害室 コンビナート保安係
吉岡、喜多村、千村
TEL: 03-5253-7528